

多喜浜校区まちづくりタウンミーティング 開催結果報告書

開催日時 令和8年7月24日（金）19時00分～20時10分
場所 多喜浜公民館
司会・進行 多喜浜校区連合自治会長
参加者数 男39人 女12人 合計51人



1. 市の重点事業に関する質問

質疑応答 なし

2. 校区課題

阿島川土手法面の環境整備について

（質問者）

地域内を流れる阿島川の土手法面では、雑草や樹木の繁茂が進み、景観の悪化だけでなく、防犯面や生活環境への影響が懸念されている。また、草木の繁茂により河川や道路沿いの見通しが悪化し、安全確認にも支障を来している。

河川に隣接する市道は、地域住民の生活道路であるとともに、農業従事者等も日常的に利用している。道路と河川が接近していることから、見通しの悪化は河川への転落事故につながる危険性があり、安全対策が必要な状況である。また、高齢化が進む中、地域住民のみで継続的な環境整備を行うことは年々困難になっている。

河川の維持管理は県の管轄であるため、地域としてこれまでも県へ環境整備を要請しているが、十分な改善には至っていない。ついては、市からも県に対し、阿島川土手法面の除草や樹木管理などの計画的な環境整備を早期に実施するよう、積極的な働きかけをお願いするものである。

(建設部長)

ご要望のあった河川及び道路は、愛媛県が管理する二級河川及びその管理用堤防道路であり、ご承知のとおり、その整備及び維持管理は愛媛県において実施されている。

7月7日に、河口から一般県道新居浜土居線と並走する区間までの現地確認を行い、状況を説明した上で、愛媛県に対し持続的な維持管理の実施を要望したところ、愛媛県から次のとおり回答を得ている。

「河川の維持管理に係る予算については、労務単価の上昇もあり非常に厳しい状況にある。ご要望のあった阿島川の土手法面については、定期的な除草を実施することは困難であり、河川管理上支障があると判断した場合に実施している。また、河川堤防道路の通行を目的としたものではないが、毎年9月頃に実施する堤防点検のため、河川反対側の法面の除草を実施している。限られた予算の中で可能な範囲において計画的な維持管理に取り組んでいくため、引き続きご理解とご協力をお願いしたい。」

新居浜市としても、地域住民から要望を受けた際や職員によるパトロールの際に、除草が必要であると判断した場合には、愛媛県に対して適宜状況を伝えていく考えである。

(質問者)

子どもの頃から住んでいて阿島川の氾濫被害に2回くらい遭っている。平成16年にも川に物が詰まるなどして氾濫し、自宅が床下浸水した。災害が起きてからでは遅い。市長も言われたように防災に力を入れているなら県に強く言ってほしい。

(建設部長)

阿島川の中に土砂がいっぱい堆積して大雨が降った時に越水するのではという心配のお話と思う。土砂の浚渫は県にお願いしており、県の方も一定程度堆積したら浚渫していくと聞いている。先ほどの課題は除草の話であったが、河川内に土砂がいっぱい堆積しているというような心配があった場合には、市からも県に強く要望していきたい。

(質問者)

阿島川だけではないが、マリンパークへ行く幹線道路に出る際に街路樹が高くて見通しが悪い。車が出ようとしたときに、坂を下ってくる子どもたちの自転車と接触事故になりかけることもある。阿島川の草木の繁茂で見通しが悪いと事故になりかねない。阿島川だけではなく市内のいろんな所にいっぱいある。その街路樹は先週に伐採していただいたが、その2週間前に近所の方と自分たちでも刈った。狭い道路や県道と交差する所は、見通しが悪ければ市でも刈ってほしい。

(建設部長)

おっしゃられるように、安全確保を第一に考えながら進めていきたい。

空き家対策について

(質問者)

多喜浜校区では空き家が年々増加しており、中には通学路に面した老朽化が著しい空き家や、倒壊の危険性が懸念される空き家も存在している。

地域住民が所有者を調べようとしても、所有者が不明であったり、連絡先が判明しなかったりするケースが多く、個人での対応が困難な状況である。

また、個人情報保護の観点から地域への情報提供が難しい面もあるが、通学路の安全確保という観点から、所有者不明又は管理者が判明しない危険な空き家に対し、市としてどのような対策や制度の活用を考えているのか伺いたい。

(建設部長)

適切に管理されていない空き家は、防災、衛生、景観などの面で地域の生活環境に深刻な影響を及ぼすことから、新居浜市においても重要な課題であると認識している。そのため、市では空き家の所有者等を調査した上で、適正管理に向けた改善指導や除却の促進に粘り強く取り組んでいる。

また、空き家発生の原因の6割以上は相続によるものとされており、空き家化を未然に防ぐための啓発を行うことが重要であると考えている。今後も関係機関と連携しながら、空き家の利活用の推進や適正管理に関する意識啓発、情報発信に取り組んでいく考えである。

(質問者)

空き家を解体して更地になったら税金が高くなるのが国の方でも問題になっているが、新居浜市ではどうなっているか？

(建設部長)

建物があることによって税の控除があるので、更地にすると課税が上がるという部分は確かにある。

3. その他

(質問者)

国土調査が入ると住民説明会、測量、境界の立ち合い等、すごい予算と労力が必要だが、いずれはしないといけないことだと理解している。いずれ国土調査が入るが、川東はだいぶ先になるだろうと聞いている。空き家が増えると土地の所有者もわからなくなる。農地でも同じ。予算も労力も大変だと思うが、わかるうちに早く進めた方がいいと思う。それによって、市外に出ていた校区の出身者が戻ってきて、地域が維持できる、多喜浜小学校の人数も増えるということがあるかもしれない。なので、早くした方がよいと思う。何か考えはあるか？

(建設部長)

国土調査、地籍調査については、ご指摘のように新居浜市は非常に遅れている状況で、現

在は川西の市街地を中心に進めている。市で決めるものではなく土地所有者の方々に来ていただき、立会し、納得いただいて境界を決める作業であるため、非常に地道で時間もかかる作業である。調査を行うとその後の土地取引にもメリットもあるのでできるだけ早く進めていきたい。いつ実施するかという話はできないが、引き続き進めていきたい。

（質問者）

水道事業について、多喜浜は本管を敷設してから 50 年くらいが経っている。今に全部変えないといけない状態になるのではないかと、今もいろいろな所で直しているが、一斉に変えたらどうかと思う。予算の兼ね合いもあると思うが、どう考えているか？

（建設部長）

市の下水道に関してはこれ以上区域を広げないという話をしているが、水道に関しては耐震化も含めて進めていく必要がある。事業費は多くかかるので国の補助もいただきながら進めていくが、工事が近くに来た際にはご協力をお願いしたい。

（質問者）

猿を東浜公園付近の住宅地で見たという話を地域住民から聞いた。猿はなかなか凶暴なので遭遇した時どういう対応をすればいいか？

（市長）

猿の被害は、市内でも船木、角野、先日の神郷校区タウンミーティングでも話が出た。これといった対策がないのが正直なところ。猟師に聞いたところ、猿は賢いのでオレンジのベストを着ている人を見ると逃げる、煙火や花火で散らす、それも慣れてくる。四国中央市で地獄檻という餌付けをして一網打尽にすることをしているが、それも一回やると覚えるそうである。これに関しては苦慮している。逃げている間はいいが、向かってくるようになった時に本当に心配。宿題としてお預かりさせていただき、全国の事例も見ながら何か対策ができるように頑張りたい。

4. 市長まとめ

先日、国交省への陳情で災害や上下水道等について国の方々と話をしたが、やはり近年は災害が激甚化し、これまで想定していた災害に対応した施設では足りないという話で、予算をもっとつけないといけないが実際はそこまでできない本当に苦しい状況ということであった。平成 16 年にも大きな被害があったので、できることはやっていきたい。先般、港町のポンプ場を新しく更新したが、ポンプ場なども老朽化が進んでいるので、可能な限り国県の補助をうまく使いながらやっていきたい。

雑草など様々な話が出たが、予算があってもできる人がいなくなっている。国土調査も、私自身、四国の会長であるが、土地家屋調査士や測量をする技術者がいないので、予算があっても人の手当ができないところである。草も計画を立てて伐採しているが、業者さんが予定通り入ってくれないので、市職員が時間を融通して草を刈っているのが実態である。今は、お金もないが、それを使う人材がいけないというのが深刻で、今までできていたことが当たり前にはできない時代が進んでいくのではと懸念している。

そのような中で空き家など心配なことがある。適切に管理されていない空き家は、防

災、衛生、景観など、地域の生活環境に深刻な影響を及ぼすことから、特定空家や管理不全空家に認定することで、固定資産税の住宅用地特例の対象から除外されること等で、税の負担が増え、所有者に適切な対応を促すような制度がある。県下で率先的にしている例を勉強し、効果があるか検討していく。また、民間の方々に空き家の利活用の検討などをお願いしていく。

上下水道に関しては、八潮市の陥没事故もあり、神郷小学校前でも陥没して皆さん心配していると思う。10月から上下水道の料金を値上げさせてもらい、管路のやり変えも計画的に進めようとしている。地震で水道の復旧が遅れたのは耐震管路が少なかったことに由来するということなので、上下水道の料金が上がるが、将来の災害対策も含めたものに使用しようとしている。厳しい時代であることはどこも同様であるが、本市としても何とか地域の活力を維持し、将来にわたって発展していけるよう、職員一丸となって取り組んでいく決意である。また、地域の皆様の力添えをいただきながら、このまちで共に支え合い、力を合わせて歩んでいけるよう努めていく所存である。今後とも御理解と御協力をお願いする。